



セッション12

南海トラフ巨大地震研究と減災対応 — 研究者・行政・企業の連携を視野に —

2019年 事前申込不要 100名 入場無料

10月19日(土)

10:30~12:00

第1部は「南海トラフ広域地震防災研究プロジェクト」の成果など南海トラフ地震研究の最新の知見と課題、また減災への備えや臨時情報について講演します。

第2部では、南海トラフ地震に関する課題について、行政や企業における臨時情報が出た後の対応を中心に、研究者と行政と企業の連携を視野に入れたパネル討論を行います。

名古屋コンベンションホール 4F
中会議室 405
(名古屋市ささしまライブエリア)



愛知県名古屋市中村区平池町 4-60-12 グローバルゲート
あおなみ線 「ささしまライブ駅」2階エントランス直結

同時開催

名古屋コンベンションホール3F プレゼンブースPR-18にて
「南海トラフ広域地震防災研究プロジェクト」の成果をご紹介します!

プログラム

10:30-11:00

開会挨拶

第1部 講演

香川大学 特任教授

海洋研究開発機構 上席技術研究員

金田 義行

11:00-11:55

第2部 パネル討論

進行 金田 義行

名古屋大学減災連携研究センター

教授 野田 利弘

海洋研究開発機構 海域地震火山部門

部門長 小平 秀一

東京大学地震研究所

教授 古村 孝志

愛知県防災安全局 防災部

部長 内田 康史

日鉄テクノロジー株式会社

安全防災推進部 専門主幹

省エネ技術統括部 専門主幹

金井 則之

11:55-12:00

まとめ・閉会